

七尾市の財政状況は大丈夫なの？

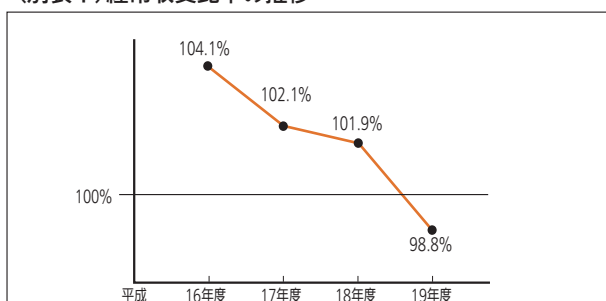
地方公共団体の財政破たんが全国的にも問題となっていますが、現在の七尾市の状況は？

平成19年6月にできた、地方財政を適正に運営することを目的とした、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、地方公共団体の財政に関する新たな指標（健全化判断比率など）を、平成19年度決算から公表することが定められました。

この指標から見える七尾市の財政状況とは？

Q & A

(別表1) 経常収支比率の推移



※経常収支比率…財政のゆとりをあらわす指標で、家計に例えると、給料や諸手当などの普通に入ってくるお金に対する食費や光熱水費などの生活費の比率です。

また経常収支比率も改善しており、少しずつではありますが財政状況は良くなってきました。(別表1)

たしかに、七尾市の財政は厳しい状況でしたが、「行財政改革プラン」をつくり、市民の皆さまにもいろいろとご協力をいただき、これまで積極的に改革に取り組んできました。その結果、毎年度の決算は「黒字」になっています。

七尾市は財政状況が厳しいとよく聞けど、実際どうなの？

(説明2) 人件費や物件費の削減状況

経常歳出一般財源(生活費)		(単位:百万円)			
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	削減額 (19年度-16年度)
人件費 (給料・手当など)	5,414	4,957	4,777	3,875	△1,539
物件費 (消耗品費・光熱水費など)	2,370	2,090	1,930	1,898	△472

(説明1) 経常的な収支の改善状況

経常収支比率				
生活費				
普通に入ってくるお金				
(単位:百万円)				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
生活費	20,948	20,543	20,275	18,982
経常収入	20,114	20,115	19,893	19,203

※平成18年度までは、生活費(市の場合は人件費や物件費など)が普通に入ってくるお金(市の場合は市税や普通交付税など)を上回っており、財政状況にゆとりがありませんでした。平成17年度から行財政改革に取り組み、平成19年度には平成16年度に比べて1,966百万円的生活費を減らしました。

**財政に関する新たな指標
ってなに？**

これまででは、①財政状況の公表の仕方が十分でなかったこと、②財政状況の悪い団体が早期改善に取り組みむねに組みになっていなかったことなどの課題がありました。

そこで国は、法律をつくり、市の財政状況を示す新たな指標「健全化判断比率」と、公営企業（水道事業や下水道事業など）の資金不足の状況を示す「資金不足比率」を、平成19年度決算から公表することを決めました。

そのなかには、**市全体の赤字の状況（連結実質赤字比率）**や、**市が将来返済借金などの状況（将来負担比率）**を示した指標が新たに設けられており、市の財政状況がよりわかるようになりました。

**健全化判断比率が悪いと
どうなるの？**

市の財政状況は、健全化判断比率によって①～③のように分かれることになりました。

(別表2) 健全化判断比率の状況(平成19年度決算)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
七尾市	—	—	20.1%	229.4%
早期健全化基準	12.53%	17.53%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	40.00%	35.0%	

※それぞれの比率が一つでも基準を超えた場合は「早期健全化」または「財政再生」となります。

※実質赤字比率欄と連結実質赤字比率欄の「—」は、赤字額がないことを示します。

- ・実質赤字比率……普通会計を対象とした赤字の標準財政規模(特定の目的以外の普通に行行政運営する上で必要なお金)に対する比率
- ・連結実質赤字比率…全会計(七尾市の場合15会計)を対象とした赤字の標準財政規模に対する比率
- ・実質公債費比率……市が負担する借金の元利償還金および準元利償還金(特別会計への繰出金や一部事務組合の負担金など)の標準財政規模に対する比率
この比率が18%を超えると、市が借金をする時に県の許可が必要になります
- ・将来負担比率……市などが将来負担すべき負債(借金の残高や、特別会計への繰出金、一部事務組合の負担金の見込額など)の標準財政規模に対する比率

① 健全な財政状態

↓ 健全段階

② 財政破たんの可能性が高い状態

↓ 早期健全化

③ 財政破たんした状態

↓ 財政再生

もし、「早期健全化」または「財政再生」になってしまうと、「市独自の事業やサービスをを行うことが難しくなるとともに、税金や公共料金の値上げも検討しなければならなくなります。」

七尾市は大丈夫なの？

平成19年度決算に基づく七尾市の状態は「健全段階」です。「早期健全化」および「財政再生」の基準を下回っています(別表2)。

また、それぞれの公営企業においても資金不足はありません。(別表3)

これからどうなるの？

国の定めた基準においては「健全段階」であっても、実質公債費比率(別表2)が高いことから適正化に努めなければなりません。

また、景気の先行きに不安があることや、国からもらえるお金(地方交付税など)が年々減少していることから、これからは厳しい状況であることになり変りありません。

今後も、これらに耐えることのできる健全な財政運営を行っていくことが重要ですので、これまで以上に財政改革に取り組んでいかなければなりません。

(別表3) 公営企業における資金不足比率の状況

会計名	水道事業会計	特別会計	簡易水道事業特別会計	下水道事業特別会計	観光施設事業特別会計	公設地方卸売市場事業特別会計	分譲宅地造成事業特別会計
資金不足比率	—	—	—	—	—	—	—
経営健全化基準	20.0%						

※資金不足比率欄の「—」は、資金不足額がないことを示します。

問 財政課 ☎53-8455